

字中下

株女やまこ

貴重書



馬琴  
國貞  
作画

五十四八

特

19

国

2

754





琴



琴  
瑟  
笙  
簧

孟春幾  
天  
天  
天

森  
玉  
玉  
玉

琴  
瑟  
笙  
簧

琴  
瑟  
笙  
簧





40. 8. 26  
7306531



曲亭馬琴作  
歌川國貞画

倭字筆乃壽

天保六乙未 江都伯樂街第二坊  
森屋治兵衛梓

如是我聞世尊龍華の參會は諸天積物に慈竹龍八須弥  
山もな不低し一せー涅槃の室の眞座敷を傳へて弥高に  
高野大師の書會あり衆生墨染の筆意と仰ぐ佛法不可  
思議自他平等念ぶるものあり利益あり信じるものあり  
持あり七難去る七福来る大師河原の厄除本尊縁起  
と少許聞かざり輪廻應報有がらん説話と画はかく善  
巧方便浮屠家の慈悲を實りし出たる虚の川寄土産獨結  
に似たる米饅頭の筑も草木もめと出を現青陽のたるの日  
れが物ぐるりよ自序はしるふ

馬琴戲述











弘法大師  
 舊跡廻國  
 三界坊夢蒼



志々木  
 丹心  
 置  
 宗因  
 霜二郎  
 川根

小磯





とどろき  
草環の  
ゆくつや  
松まいつ  
のびらり

閑麻呂

塚見九郎

竹部  
弥膳

闇坂治部五郎



後、武田足利氏よりあそ  
むん東のちんねんねん  
とよむさうのくにまやの  
とよむさうのくにまやの

あり大降  
あり大降

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた



あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた



あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

あつた  
あつた

















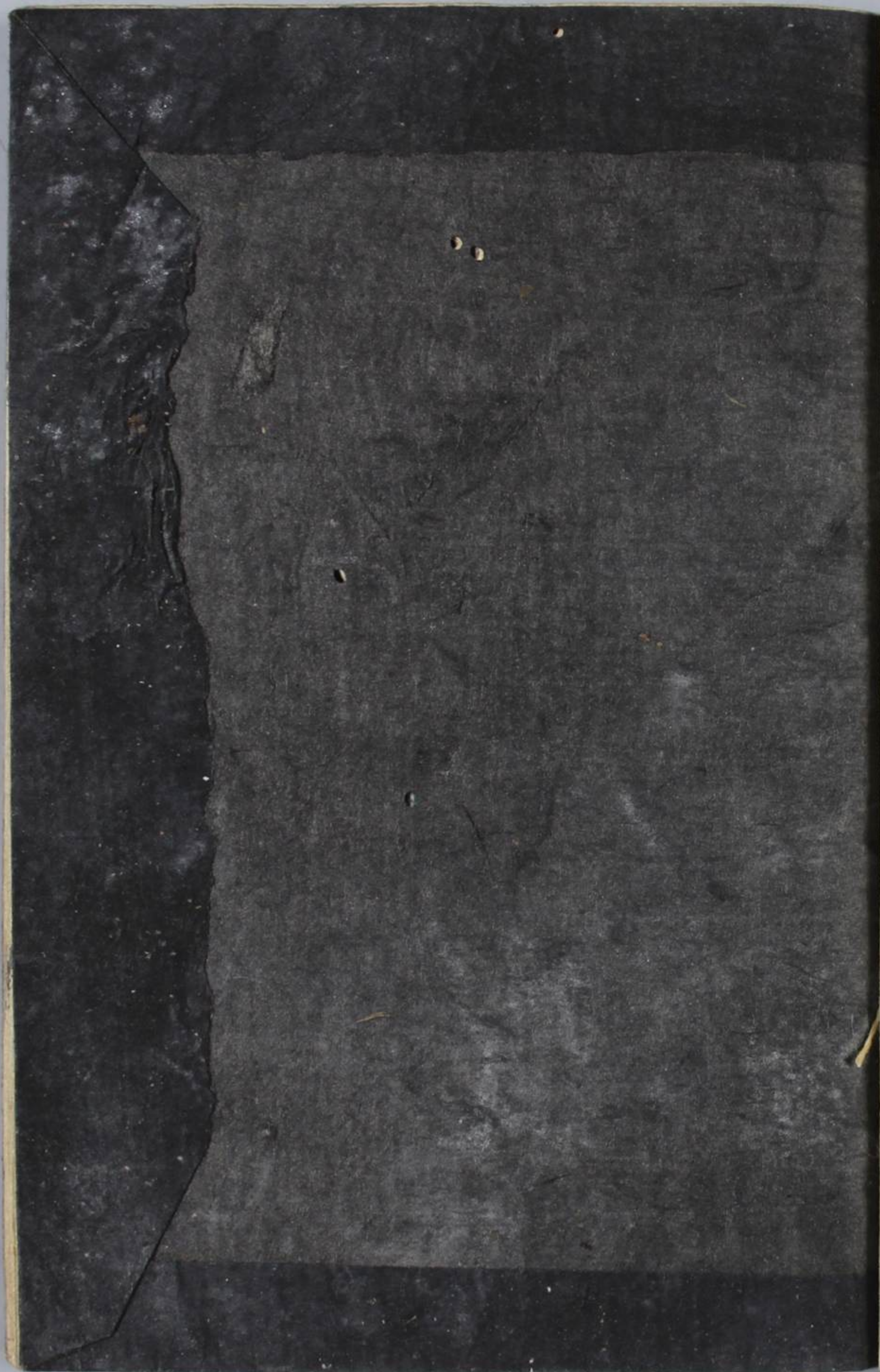
















乙  
新未  
孟  
板春







孟春幾日  
天孫六未

森皇宮共衛  
玉階自樂博

柳字筆之畫

婦川圖負  
曲亭畫琴



歌曲亭馬琴作  
歌川國貞画

倭字筆乃壽

天保六乙未 江都伯樂街第二坊  
子孟春發兌 森屋治兵衛梓



























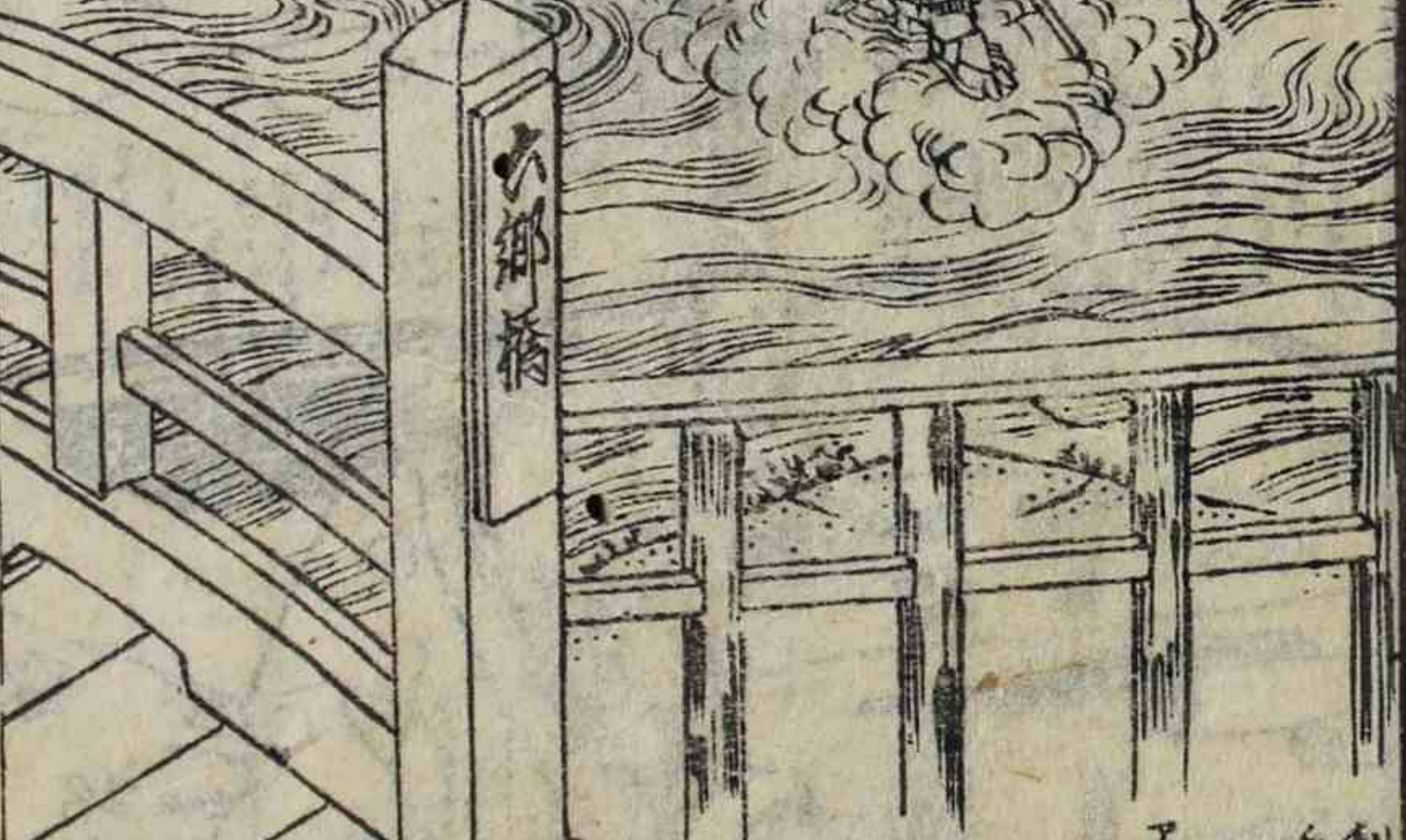


本からいふは... ありては... 小姓の... 大い... ありては... ありては...



木... ありては... ありては... ありては... ありては...

ありては... ありては... ありては... ありては... ありては...



ありては... ありては... ありては... ありては... ありては...











241

そのまゝに... (Vertical text on the right side of the page)

あつた... (Text near the woman)

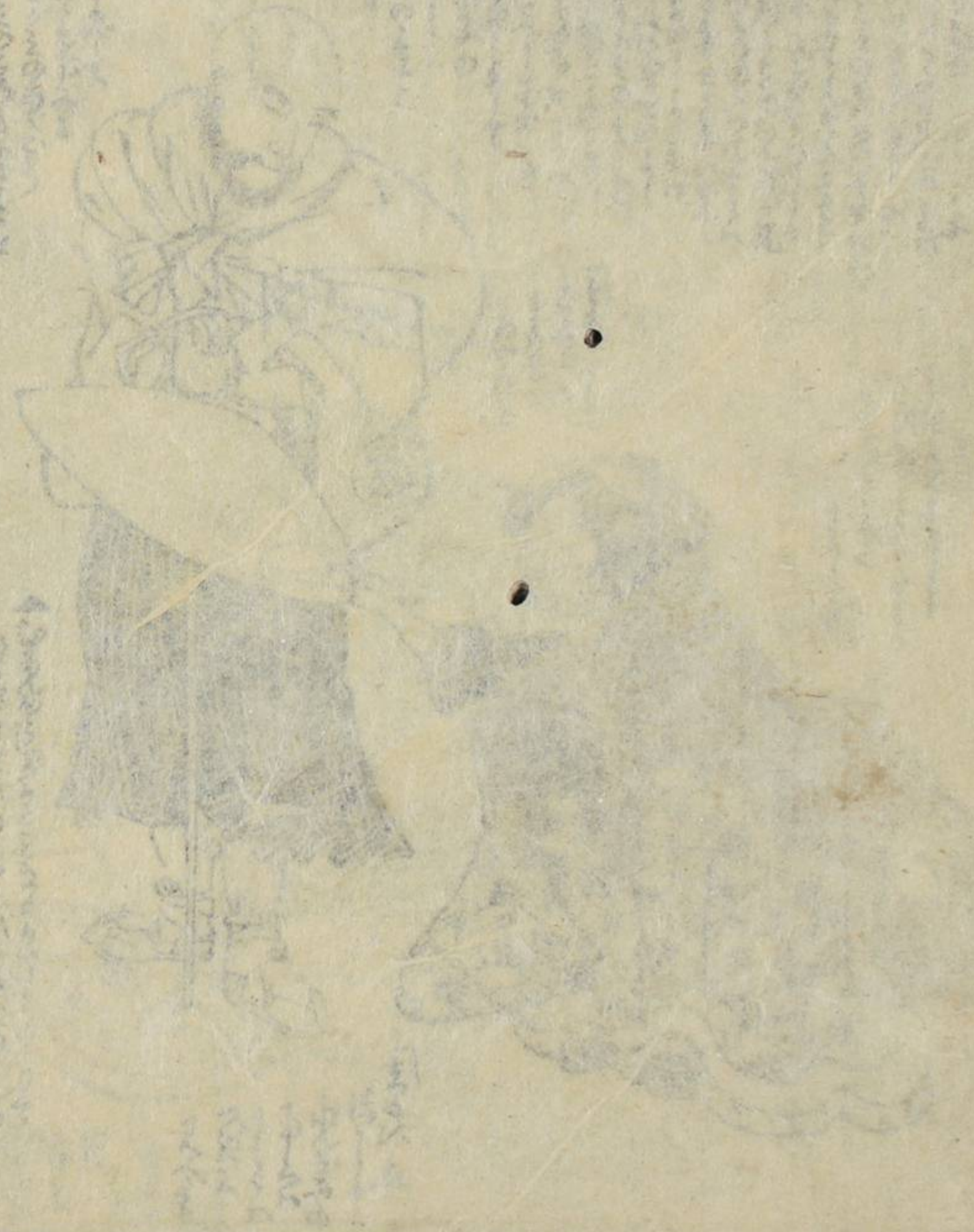
あつた... (Text near the monk)

あつた... (Text near the monk's feet)

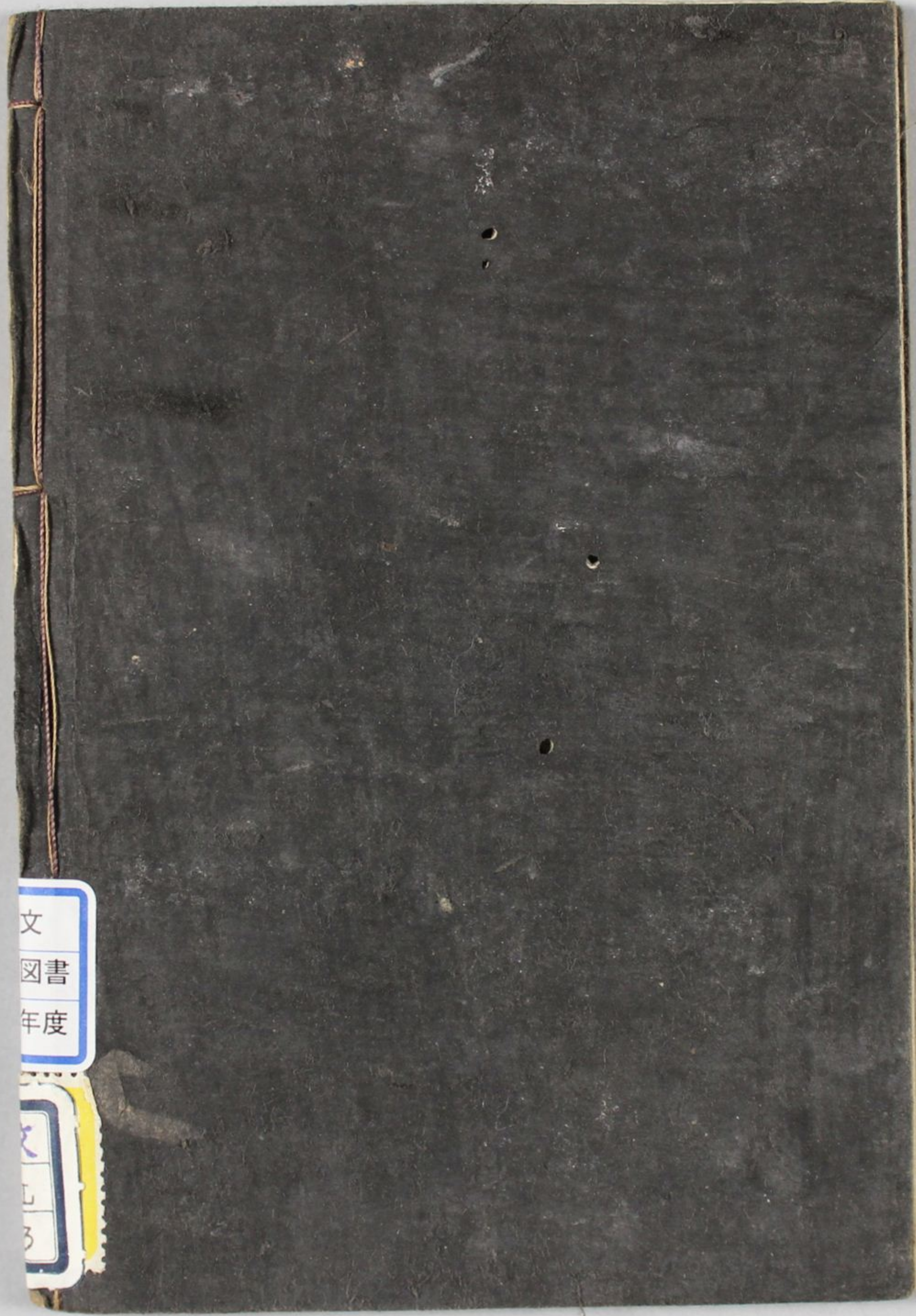
あつた... (Text at the bottom of the illustration)



国文  
24L  
43







文  
図書  
年度

文  
L  
3